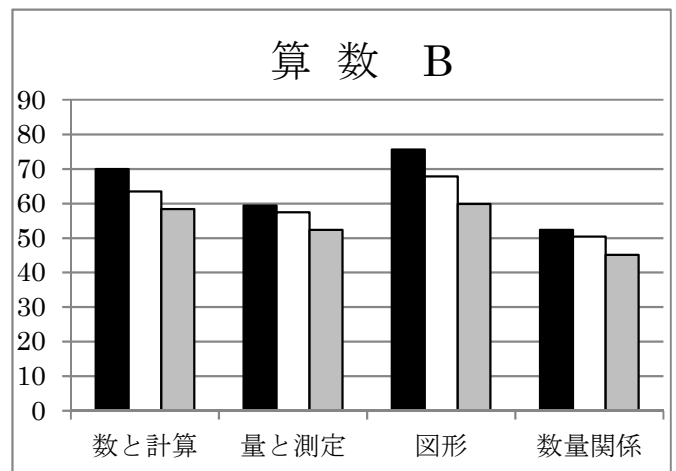
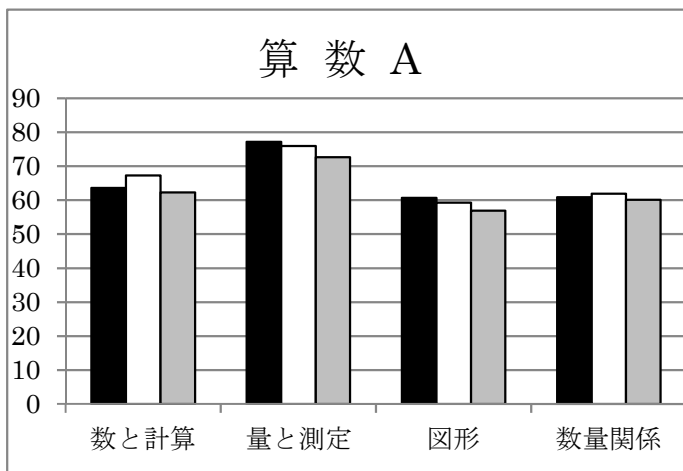
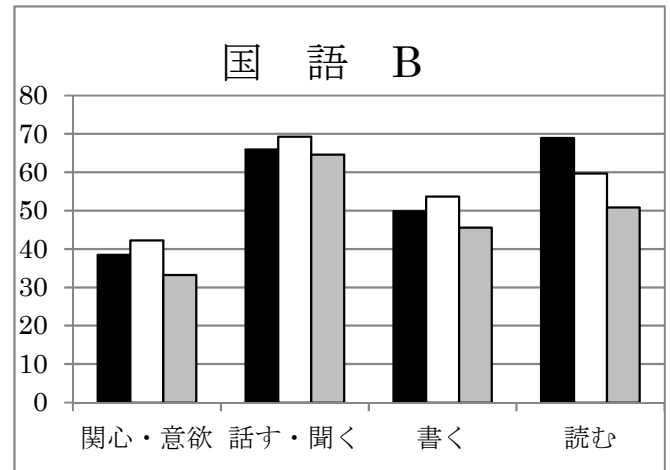
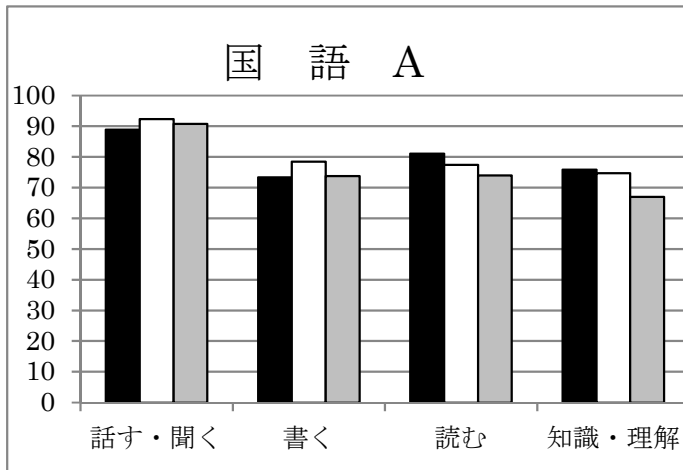




全国学力学習状況調査の結果について

4月に行われた「全国学力学習状況調査」について、その結果をお知らせします。この「全国学力学習状況調査」は、4月に実施されたもので、小学校6年生を対象に、5年生までの内容の問題が出題されています。今回の結果を受けながら分析を行い、学校としても対応していきたいと思えます。

各教科における領域ごとの比較



各グラフはそれぞれ

(黒)：六郷小 (白)：秋田県 (灰色)：全国

A問題：基礎的な知識を問う問題

B問題：知識を活用する問題

(国語A) 「話す・聞く」「書く」が県・全国平均を下回っている。「読む」「知識・理解」は県・全国平均を上回っている。

(国語B) 「読む」が県・全国平均を大きく上回り、その他は、全国平均を上回っているが、県平均より低い。

(算数A) どの項目も、ほぼ県・全国平均に近い結果である。

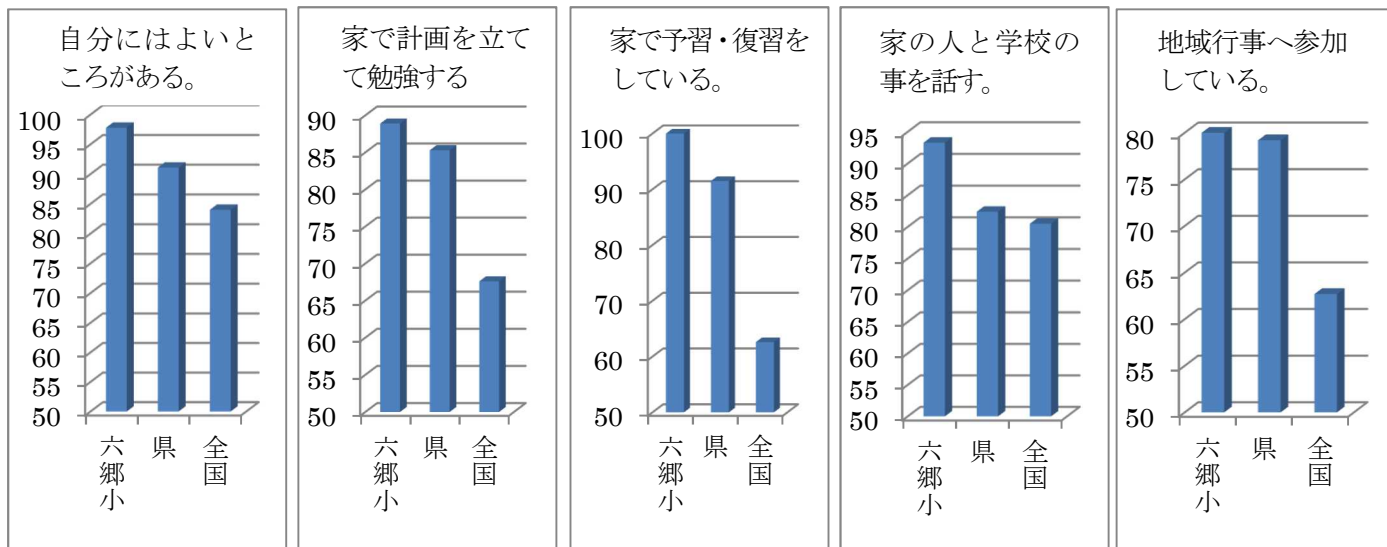
(算数B) どの項目も県・全国平均を大きく上回っている。

国語は、「読む」が好結果ですが、逆に「書く」が劣っていることがわかります。文章を読み取る力は高いものがありますが、考えを文章に表現したりまとめたりする点に課題があると言えます。学校では、現在家庭学習での日記に力を入れて取り組んでいます。

算数では、基本であるA問題に少し課題が見られるものの、活用問題であるB問題がとてもすばらしい結果となりました。学校では、自分の考えをしっかりとらせ、授業の最後には応用問題を解くところまで進めようとしてがんばってきました。その成果が出たのではないかと分析しています。

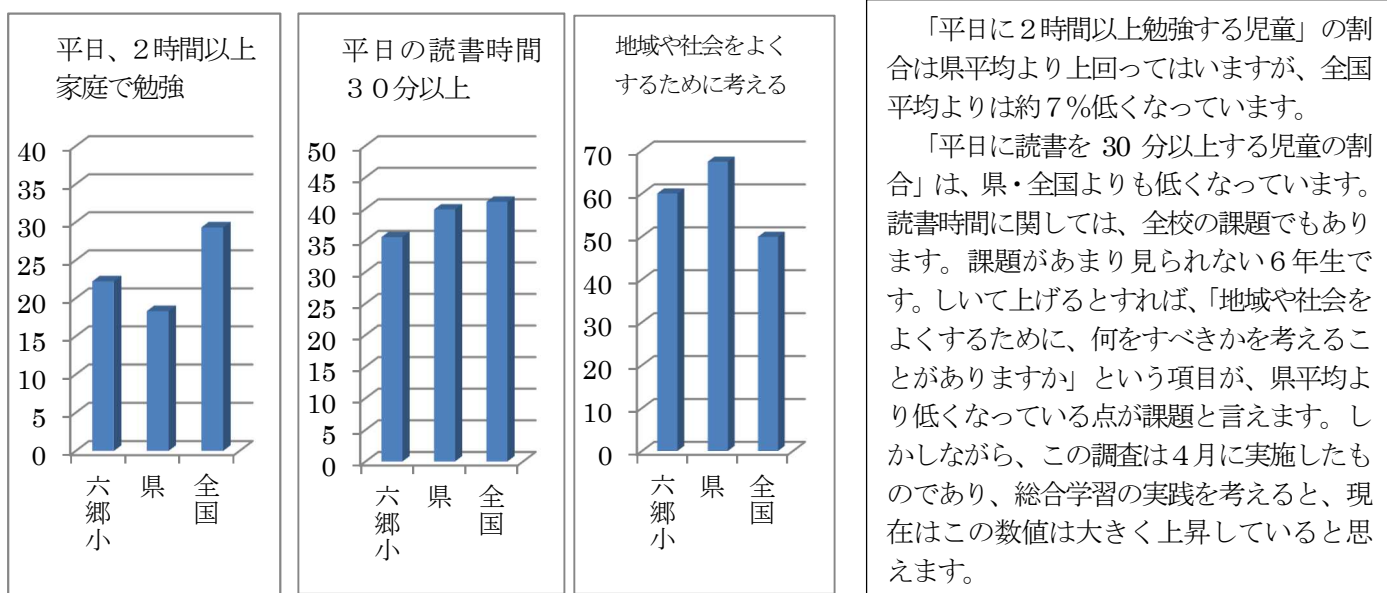
(児童質問紙から)

1 県・全国平均と比較して、六郷小学校の優れている点



六郷小の6年生は、約95%の児童が、「自分にはよいところがある」と答えており、自己肯定感が高いと判断できます。大半の子ども達が、家で計画的に勉強しており、予習・復習にも積極的に取り組むなど、家庭学習への意欲の高さが見られます。家庭でも学校のことを話題にして会話がなされ、地域行事にも進んで参加するなど、家庭での様子も望ましいと言えます。

2 六郷小学校の課題



各ご家庭でも、次の点についてご協力をお願いします。

- (1) テレビやゲームの時間を、少しでも減らそう。
- (2) 「読書」の時間を、少しずつ増やしていこう。
- (3) テレビのニュース番組や、新聞に目を向け、社会の動きを知ろう。

12月には、4～6年生が「秋田県学習状況調査」を行います。それに向けて、毎日の学習をしっかりとさせていきたいと考えています。

子ども達のがんばり

第19回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン選手権 秋田県予選 5年男子シングルス 1位

* 前回、お名前を記載し忘れました。申し訳ありませんでした。

親と子のふれあい写生大会 佳作 1年

秋田県剣道連盟 剣道二級 6年

剣道三級 5年